



平成27年 1月 8日

各 位

会 社 名 日本プラスチック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 須藤 亘
(コード番号 7291 東証第二部)
問 合 せ 先 経 理 部 長 齊 田 敦
(TEL 0544-58-9060)

(訂正)「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成26年11月7日に発表いたしました「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」における「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」について、投資家向けに開示情報を充実させることを目的として下記のとおり記載事項を一部訂正いたします。

なお、訂正箇所には、下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所】

(2ページ)

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

<省略>

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売上高は、国内得意先の減産はあったものの、北米得意先の増産影響及び為替換算による売上高の増加影響などにより前年同期比4.3%増の58,314百万円となりました。損益面では、増収影響により営業利益は前年同期比48.8%増の1,506百万円となりました。また、為替差益の影響等により経常利益は前年同期比24.7%増の1,605百万円、四半期純利益は前年同期比0.2%減の929百万円となりました。

(訂正後)

<省略>

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売上高は、国内得意先の減産はあったものの、北米得意先の増産影響及び為替換算による売上高の増加影響などにより前年同期比4.3%増の58,314百万円となりました。損益面では、増収の影響に加え、合理化効果、有形固定資産の減価償却方法の変更及び当第2四半期連結会計期間から新連結会計システムの導入により、客観的かつ確実なロイヤリティ計上が可能となり、当社と連結子会社との間におけるロイヤリティの授受に係る期間が一時的に増加したことによる利益の計上により営業利益は前年同期比48.8%増の1,506百万円となりました。また、為替差益の影響等により経常利益は前年同期比24.7%増の1,605百万円、四半期純利益は前年同期比0.2%減の929百万円となりました。

以 上